

# コンピュータ基礎(12)

## 11章 通信ネットワーク

### ネットワークの発展

- 昔：コンピュータは単独で用いられてきた
  - コンピュータのある部屋へ行き、使う。
  - データは記録メディアに入れて持っていく など。
- ネットワークの普及
  - 1990年代「パソコン通信」と言われていた時代は、電話回線で（電話をかけて）通信をしていた。とても低速で、画像を送るのには時間がかかった。
  - 建物内のネットワークは、企業では1990年代、家庭などでは2000年に入ってから普及してきた。
  - 自宅などに高速回線（いわゆる、ブロードバンド）を引くようになったのは2000年代になってから。

### ネットワークの種類

- LAN(Local Area Network)
  - 構内通信網という。建物内（企業、家庭など）でコンピュータを相互に接続するのに使う。
  - 有線のもの、無線のもの（無線LAN）がある。
- WAN(Wide Area Network)
  - 広域通信網という。LAN同士をつなぎ、広い地域で通信を行う。いわゆる「インターネット」。



### 通信サービスの種類

- 交換サービス
  - 電話のように相手との回線を接続する方式。
  - 携帯電話でいうと、通話中の状態。接続されている時間で通信料金が決まる。
- パケット交換サービス
  - 通信を「パケット」と呼ぶ小さなかたまりに区切って、1つ1つ宛先に届ける方式。
  - 携帯電話でいうと、メールなどの通信に使われている。料金はパケット数で決まる。
- 専用サービス
  - 企業内などで、特定の区間で回線を専用使用する通信の方法。

### インターネット回線の種類

- ADSL
  - 電話回線に、インターネットの信号を重ねて送る方法。もともと音声用に敷設された回線を使うので、電話局から遠いと通信ができなかったり遅くなったりする。
- FTTH (Fiber to the home)
  - 光インターネット。家庭まで光ファイバーケーブルを新しく敷設して通信する方法で、速度が速い。
- モバイル通信
  - 携帯電話の回線（無線）などを用いて通信する方法。
  - 自由に移動することができる反面、遅くて、通信料金が低い。
- その他
  - ケーブルテレビの回線を流用する方式など。

### 転送速度について

- 転送速度の単位
  - bps(bits per second) 1秒当りに何ビットのデータを転送できるか。
  - kbps, Mbps, Gbps という単位もよく使われる。
- 例題
  - 1MBの画像ファイルを1Mbpsの回線で送ると何秒かかるか？
    - 1MB（1Mバイト）は8Mbitである。
    - 8Mbitを1Mbpsで転送すると、8秒かかる。

## 転送速度の例

- 音声通話は、概ね 8kbps 程度で良い (携帯電話)
- 音楽は、100kbps程度のことが多い(MP3など)
- 映像では、ワンセグ放送が128kbps  
地上デジタル放送が15Mbps
- 無線LANは11Mbps~300Mbps
- 有線接続(LAN, USBなど) は10Mbps~1Gbps
- 実際の通信では
  - 送りたいデータそのものの他に、通信の宛先や誤り訂正のための情報なども入っているので、より長い時間がかかる。
  - プロトコルオーバーヘッドと呼ぶ。
  - 無線通信では電波状況が悪いと誤りが増えたり、再送信が行われたりして効率が非常に悪くなることもある

## LANについて

- [ ]・・・機器間のつなぎ方 (教科書p137参照)
  - 現在はスター型が広く用いられ、バス型・リング型はほとんど用いられていない。
- 伝送媒体
  - 有線 (ケーブル) 現在は 1Gbps (1ギガビット毎秒) の速度のものが普及している。
    - [ ] という規格のものが使われている。
    - ケーブル同士は、ハブに接続して使う。その他、中継装置として、リピータ、ルータ、ゲートウェイなどがある。
  - 無線 (WiFi, IEEE802.11) 有線よりは遅く、11Mbps のものが多かったが、最近は100Mbpsを超えるものも増えてきた。



## インターネット

- インターネットのサービス
  - 電子メール hiura@hiroshima-cu.ac.jp のようなメールアドレスで通信相手を特定し、通信できる。
  - Web(WWW) 閲覧するページを表す文字列をURLという。www.hiroshima-cu.ac.jp など。
    - 前に http://などを付けることがあるが、これは通信方式 [ ] を表す文字列である。
- 通信方式について
  - http のほかに、ftp (データ転送プロトコル。自分のホームページにファイルを掲載するときに使う) や smtp (メール送信のときに使われるプロトコル) など、多くの通信規約 (プロトコル) が定められている。

## IPアドレスについて

- [ ]とは?
  - インターネットに直接接続されたコンピュータに与える 32bit の番号。枯渇しかかっている。
  - 最近は128bit にした IPv6 への置き換えが進んでいる。
- [ ]
  - IPアドレスは記憶するのが難しいので、組織などに名称を付けることができるようになった。
  - www.hiroshima-cu.ac.jp のように、. で区切っていく。
  - ネームサーバに問い合わせると、ドメイン名からIPアドレスを調べることができる。電話帳のようなもの。

## コンピュータ基礎(13)

12章 情報セキュリティ

## 情報セキュリティとは?

- セキュリティを考えるための要素
  - 保護すべきもの (データ、システム)
  - 保護すべきものを脅かすもの ([ ])
  - 保護すべきものを守る手段 (セキュリティ)
- 脅威の種類
  - 自然災害・天災 (地震、台風、洪水など)
  - 火災
  - 破壊 (建物・コンピュータ・データを故意に壊す)
  - 不正行為 (コンピュータ犯罪、改ざん、盗聴、なりすまし、漏えい、複製、抹消など)
  - 過失 (ミスによる様々な損失)
  - いたずら (侵入やコンピュータウイルスなど)



## 脅威と脆弱性

### 脅威

- 他人の名前やID, パスワードを使う。
- パスワードは、コンピュータの欠陥（脆弱性）について取得する他に、誕生日や子供の名前を調べるなどの**ソーシャルエンジニアリング**も用いられる。
- 正常なネットワーク通信が出来なくなるよう、大量のアクセスを行うなど。
- 悪意を持って作られたプログラムで、他のコンピュータに入り込んだり、事故増殖したりする。

### 脆弱性

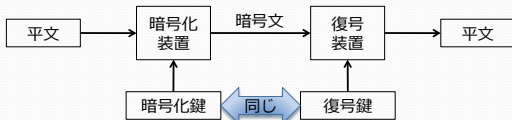
- **バグ** ・ ・ プログラムのミス。
- バグや設計の不備により、侵入を許してしまうような欠陥のこと。

## 悪意で作られたプログラム

- 何らかの役に立つプログラムのように見せかけて、実は悪意を働くプログラム。パスワードを盗む、不正侵入経路（バックドア）を作る、など。
- トロイア戦争（ギリシア神話）の木馬の故事から。
  - 中に兵士が入っている。敵が城に運び入れた後、夜に兵士が出てきて敵を滅ぼした。



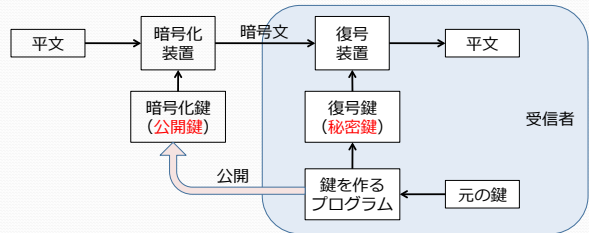
## 暗号化(1)



### 暗号方式

- 暗号化鍵と復号鍵が同じ
- お互いの持つ鍵を秘密にしておく必要がある
  - 鍵を相手へ「秘密に」届ける方法が問題となる。もし鍵が漏れると、他人が復号できてしまう（メッセージを読まれてしまう）。
- 通信相手が増えると、鍵がその分増えてしまう。

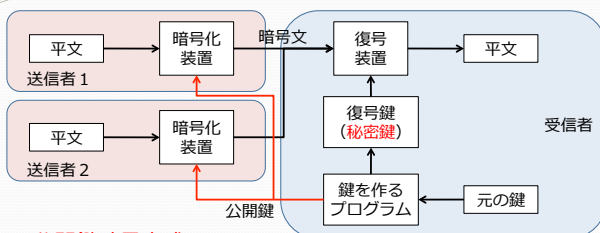
## 暗号化(2)



### 暗号方式

- 2個セットの鍵を作成し、暗号化鍵を公開する
- 復号鍵は受信者から外に出ないので、復号鍵（秘密鍵）を盗まれる危険性が低く、安全性が高い

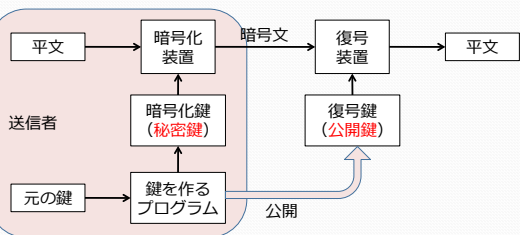
## 暗号化(3)



### 公開鍵暗号方式では

- 複数の送信者が同じ鍵でそれぞれ秘密のメッセージを送信できる。受信者以外は復号出来ない
- 問題点
  - 公開鍵を入手すればだれでも送信できるので、送信者を特定できない（偽情報を送ることができてしまう）
  - 他人が受信者になりすまして、偽の鍵を公開して情報を盗み出す危険がある→認証局の必要性

## デジタル署名



- 復号鍵をあらかじめ公開しておく。誰でも復号できる。
- 暗号化鍵は秘密なので、他人が同じ暗号データを作ることができない（本人が作ったデータであることが確か）

## セキュリティを高めるために

- パスワードの管理の徹底
- 生体認証の導入
  - 指紋, 光彩, 静脈パターン, などの身体情報を用いる.
- アクセス権の設定
  - 許可されていない人には重要なデータを操作できなくするなど. 情報処理センターの計算機でも.
- ファイアウォール
  - 通信経路の途中に設置するもので, 通信内容に不正なものがないかを検査し, 不正なアクセスは遮断する.
- ウィルス対策
  - ウィルス対策ソフトウェアを導入し, ウィルス定義を定期的に更新する.
- 通信の暗号化